

# 平成27年度 町政執行方針



3月11日から開催された町議会第一回定例会において、岩村町長が、平成27年度の町政執行方針と予算編成概要を述べましたので、お知らせします。

平成27年第一回町議会定例会の開会にあたり、私のまちづくりの臨む方針と平成27年度予算概要について申し上げます。

私は、一昨年の10月に町長に就任して以来、皆様から寄せられました多くの期待をしっかりと受け止め、地域住民が将来に向かって夢と希望をもつて、安心して暮らすことができるまちを目指し、全力で邁進してまいりました。

しかし、この間には、熊石地域でのパークゴルフ場やあわびの里フェスティバルに係る問題をはじめ、総合病院の改築や経営に係る事案など、町民の皆様をはじめ町議会にも大変なご迷惑、ご心配をおかけいたしました。的確なご指導とご協力により、町政を執行させていただき、ことに心から厚くお礼を申し上げます。

今後におきましては、このことをしっかりと肝に銘じ、

輝ける未来に向け着実にまちづくりを進めてまいります。

本年は、旧八雲町と旧熊石町が合併してから記念すべき10周年を迎えます。

二つのまちは融和・融合に意を用いながら着実に歩んできた10年間で、町民皆様の心からなるご理解とご協力により一つひとつ歴史を築いてきた10年間でもあります。

これからも、新八雲町のさらなる発展に向け力強く歩を進めてまいります。

少子高齢化や地方における人口減少が顕著になっている。昨今、政府は魅力あるまちづくり提案に取り組み、市町村を応援することとした「地方創生」構想が動き出しています。

八雲町においても、産業、観光、自然など地域資源を最大限生かしながら、魅力ある地域づくりを積極的に進め、地域経済の活性化や雇用の場の創出に努めてまいります。

2016年3月に北海道新

幹線が開業します。終着駅の新函館北斗駅を降りる人は、月に7万5千人、年間では90万人と見込まれております。

道南圏にも多くの旅行客が流入してくることが想定されます。この機会を大きなチャンスととらえ、わが町の農林水産や観光資源を大いにPRし、交流人口の拡大による地域経済の活性化につながるようしっかりと取り組んでまいります。

財政の健全化、適正化を図るため、平成30年までを移行期間として現在の現金主義会計方式から発生主義会計方式（複式簿記）に移行することになっております。

また、すべての公共施設を対象に老朽化等の現状分析、課題を明確にし、将来の財政規模に適合した公共施設のあり方を示す「公共施設等総合管理計画」の策定、さらには、平成28年度から社会保障・税番号制度がスタートしますので、これらに対応した調査研究、整備を進めてまいります。

八雲町を愛し、応援して下さる方々から広く寄付金を募り地元特産品を贈呈する、ふるさと応援寄付金奨励事業は、当初目標を上回り好調に推移しておりますので、引き

続き全国に呼び掛けてまいります。

地域で安心して生活するために、医療の充実が何よりも重要であります。

八雲総合病院は、本館棟の全面改築に合わせて、ひび治療に特化した人工関節センターを開設する予定であり、病院経営については、現在のところ大変厳しい状況にありますが、職員一丸となって改善に取り組み、町民の信頼にこたえてまいります。

熊石国保病院は、医師2名体制での診療が軌道に乗り、熊石地域はもとより、近隣地域からも信頼される医療機関として安定経営がなされており、今後においても地域医療の充実に努めてまいります。

目指すべき目標に近づいたためには多くの困難があると思えますが、「将来にわたって地域住民が夢と希望をもつて、安心して暮らせるまち八雲町」実現のため、議員ならびに町民皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

以下、新八雲町総合計画の項目ごとに基本的な考え方と具体的な方針を申し上げます。